

教科名	音楽	週時間数	1	学年	3
使用教科書 及び 副教材等	中学生の音楽 2-3上 (教育芸術社) 中学生の音楽 2-3下 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) コーラスフェスティバル (正進社)				

指導の重点	「学び合う意欲」「表現力」		
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で扱う内容について、興味・関心をもって取り組める。 ・のびのびと美しい声で表現できるようにする。 ・パートそれぞれが役割を理解し、歌えるようになる。 ・曲の構造を知り、曲を理解しながら演奏できるようにする。 ・音楽の要素・構造や曲想など客観的な根拠を持って、自分なりの感じ方、自分にとっての価値などを、話したり書いたりすることができる。 		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・学習は一斉授業の形で進める。 ・合唱練習ではパートに分かれて練習する。 ・必要に応じて、ペアやグループなどの小集団を使って練習に取り組む。 		
定期考査	出題方針	授業の内容を中心に出题する。	
	範囲 (予定)	1学期期末	1学期のまとめ
		2学期期末	2学期のまとめ
		学年末	1年間のまとめ
学習方法 (アドバイス等)	授業中にしっかりと話を聞くこと。 自己評価だけでなく、客観的に評価されたことをしっかりと聞くこと。 個人練習、グループ練習、全体練習などの活動に積極的に参加し、目的意識をもって取り組むこと。		

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	① 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜に書かれていること(構成要素・表現要素)が理解できたか。 ・のびのびと声を出し、表現できたか。 ・楽器の基本的な奏法を身につけることができたか。 	提出物 定期テスト 活動の様子 実技テスト
	② 思考力、判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・その曲が作られた背景や曲についての理解ができたか。 ・楽譜に書かれている表現を歌唱や器楽で表すこと、または工夫ができたか。 ・曲や歌詞の内容にあった表情で表現することができたか。 ・背景となる文化や歴史を関わらせながら聞き取ることができたか。 	実技テスト 定期テスト 活動の様子 振り返りシート
	③ 学びに向う力、 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に関心を持ち、生活を豊かにするために授業に集中して取り組んでいるか。 ・プリントなどの提出物を丁寧に仕上げることができたか。 ・その音楽が生み出す楽曲の雰囲気を感じ取ることができたか。 	定期テスト 活動の様子 振り返りシート

年間授業計画書					
学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4	日本の音楽に親しもう。	「花」 他	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本歌曲のことばや旋律の美しさを感じ取り表現できるようにする。 ・リーダーを中心に、互いに助け合いながら自主的な活動をする。 ・旋律のまとまりを感じ取り、フレーズの表現を工夫する。 ・オーケストラの音色の対比や、かけ合いのおもしろさを味わう。 ・自分たちの歌声について特徴を把握し、表現の深まりと良さが発揮できる選曲ができる。
	5	曲想を感じ取って歌おう	混声三部合唱 「絆」 「あなたへ」 他	7	
	6	交響詩の名曲	鑑賞曲「ブルタバ」	1	
	7	合唱の喜び	合唱コンクールにむけて	1	
2	9	合唱の喜び	混声三部合唱 各クラスの合唱曲	7	<ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割を意識し、全体の響きに調和した表現を工夫する。 ・互いの演奏を聴き合い評価し合う中で、一つの音楽をつくることの楽しさやすばらしさ、難しさを感じ取る。 ・曲想に合った発声について理解し、表現することができる。 ・曲の良さや特徴を捉え言葉で説明することができる。 ・旋律の仕組みを考え作曲することができる。
	10				
	11	さまざまな歌曲	名張市音楽会の合唱曲 混声三部合唱	5	
	11	オーケストラの響き	鑑賞「交響曲第9番合唱」	1	
	12	創作活動	ソフトを使った作曲活動	2	
3	1	日本の伝統音楽の響き	鑑賞「越天楽」	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽の響きを感じる事ができる。 ・3年間のまとめとして、仲間と共に美しさを感じ取り、心をこめて歌う。
	2	心をこめて歌おう	三送会・卒業式の歌	7	
	3				